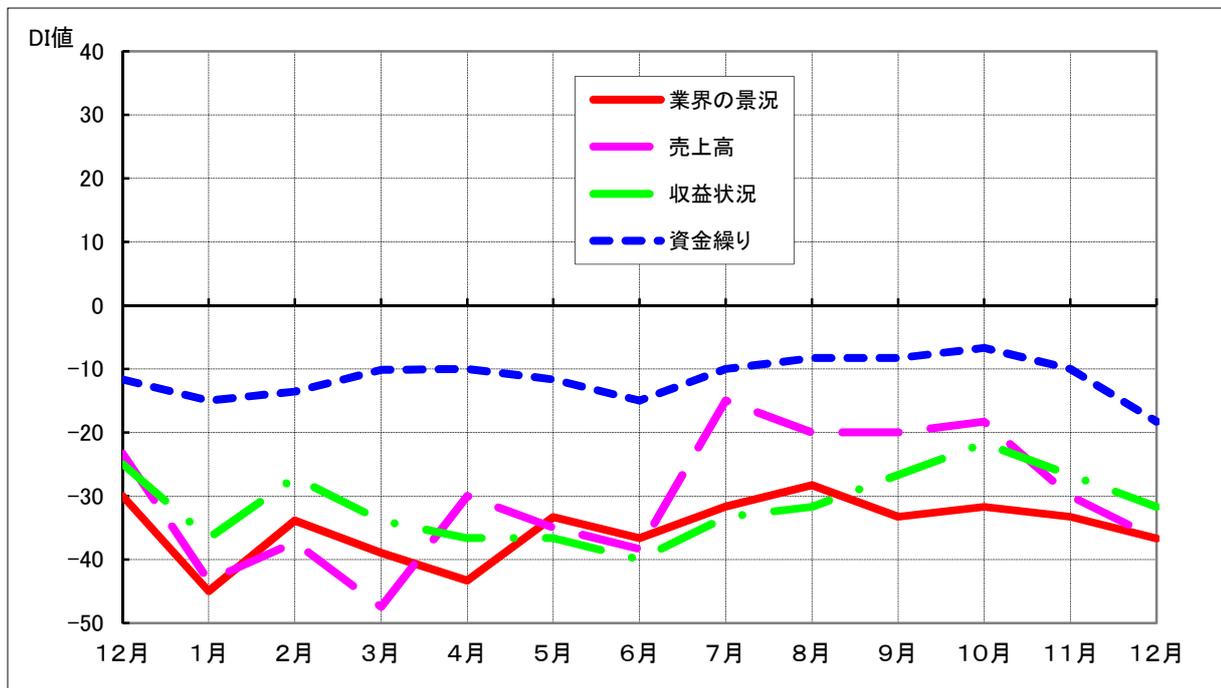


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成26年12月～平成27年12月

単位:ポイント



H26 H27

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
業界の景況	-30.0	-45.0	-33.9	-39.0	-43.3	-33.3	-36.7	-31.7	-28.3	-33.3	-31.7	-33.3	-36.7
売上高	-23.3	-43.3	-37.3	-47.5	-30.0	-35.0	-38.3	-15.0	-20.0	-20.0	-18.3	-30.0	-36.7
収益状況	-25.0	-36.7	-27.1	-33.9	-36.7	-36.7	-40.0	-33.3	-31.7	-26.7	-21.7	-26.7	-31.7
資金繰り	-11.7	-15.0	-13.6	-10.2	-10.0	-11.7	-15.0	-10.0	-8.3	-8.3	-6.7	-10.0	-18.3

○12月のDI値は前月と比べ、全項目が悪化した。「業界の景況」DI値は3.4ポイント、「売上高」DI値は6.7ポイント、「収益状況」DI値は5.0ポイント、「資金繰り」DI値は8.3ポイント悪化した。前年同月と比べても全項目が悪化した。「業界の景況」DI値は6.7ポイント、「売上高」DI値は13.4ポイント、「収益状況」DI値は6.7ポイント、「資金繰り」DI値は6.6ポイント悪化した。

12月の連絡員の報告からは、暖冬というキーワードが多数報告された。暖冬の影響により天候に恵まれ順調に推移したとの報告があった一方で、季節物商品の売り上げはよくなく、また除雪業務も減っているため景況感は芳しくないとの報告が目立った。暖冬の影響に注視する必要がある。

○組合の特記事項からは、外衣製造業から、一年を通して景気回復の実感は全く無かった。アパレル市場はヒット商品が見当たらないまま暖冬を迎え、重衣料の販売不振に追い打ちをかけられ、危機感を募らせているとの報告があった。また、砂利採取業からは、暖冬少雪のため除雪の仕事もなく、しかも公共工事等も少なく、厳しい状況が続いているとの報告があった。